

令和2年第12回 幸手市教育委員会定例会会議録						
招 集 期 日		令和2年12月15日（火）午前9時30分				
開 会 場 所		ウェルス幸手 2階 研修室				
開会の日時・宣告者		令和2年12月15日（火）午前9時30分			山 西 実	
閉会の日時・宣告者		令和2年12月15日（火）午前11時22分			山 西 実	
出席 状 況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出 席	教 育 委 員	岩崎 万紀子	出 席
	職務代理者	会 田 研 司	出 席	教 育 委 員	高 島 勝 也	出 席
	教 育 委 員	尾島 紗緒里	出 席	教 育 委 員	藤 沼 寛 次	出 席
傍聴人：0人				書 記：大 竹 孝 典・河 口 奈 緒		
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名		氏 名	
	教 育 部 長	手 島 秀 明				
	総 務 課 長	服 部 道 春				
	指 導 課 長	堀 越 成 夫				
	社会教育課長	百 瀬 修				

会 議 事 件 名	顛	末
開 会 午前 9 時 30 分 日程第 1 前回会議録の承認 日程第 2 議 事 議案第 39 号 幸手市いじめ問題調査 委員会委員の委嘱につ いて	教育長 開会を宣する。 教育長 令和 2 年第 11 回教育委員会定例会の会議録について承認 を求める。 《質疑》 質疑なし。 《承認》 全員異議なく承認。 指導課長 議案書により説明する。 《質疑》 尾島委員 委員会の活動内容について伺う。 指導課長 いじめ防止対策推進法第 28 条第 1 項各号に規定する重大 事態が発生した場合、教育委員会の諮問に応じて、(1) 当該重大事態に係る事実関係に関すること、(2)教育委 員会が執るべき措置に関すること、(3)その他教育委員 会が必要と認めることについて、調査や審議を行う。 藤沼委員 「幸手市いじめ問題対策連絡協議会」、「幸手市いじめ問 題調査委員会」、県の「児童相談所」の各々の役割につ いて伺う。 指導課長 「幸手市いじめ問題対策連絡協議会」は、いじめを未然に 防止するために、市全体で取り組む教育や啓発について 協議する組織で、「幸手市いじめ問題調査委員会」は、個々 の案件で重大事態が発生した場合、第三者の手によって 事実関係を調査する組織である。また、「児童相談所」は、 所員の方を「幸手市いじめ問題対策連絡協議会」の会員の	

日程第 3 行政報告 1 教育長報告	一員として委嘱し、活動いただいている。 会田職務代理者 幸手市における令和元年度のいじめに関する件数が分かれば伺う。また、現時点で解決していない事案があるのか伺う。 指導課長 令和元年度のいじめに関する件数については、手元に資料がないためお答えできない。十分な調査が必要な事案は、1 件ある。 岩崎委員 「幸手市いじめ問題調査委員会」を立ち上げる基準について伺う。 指導課長 「幸手市いじめの防止等のための基本方針」の中で重大事態については、「いじめにより児童生徒の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。」「いじめにより児童生徒等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。」と明記している。このうち、万が一、生命に関する事案が発生した場合は、「幸手市いじめ問題調査委員会」を立ち上げて調査をしていくことになる。 《採決》 全員異議なく原案どおり議決。 教育長 1 各種教育長会議等 2 令和 2 年第 4 回幸手市議会定例会関係 3 人事異動に係る校長ヒアリング 4 行政視察 教育部長 令和 2 年第 4 回幸手市議会定例会一般質問（教育委員会部分） 総務課長 行政視察（坂戸市立城山学園） について資料により説明する。
--	--

2 事務局からの 主要な報告	総務課長 G I G Aスクール構想に係る学校 I C Tの整備について 指導課長 1 令和2年度 表彰関係 2 令和3年度 埼玉県公立小・中学校管理職選考結果について 3 幸手市立小・中学校 学校評価について 4 幸手市統一学力テストについて 5 学力・学習状況等調査等の実施について 6 令和3年度当初教職員人事事務の予定 7 今後の行事予定 8 令和2年度 卒園式・卒業証書授与式の日程 指導課長（吉田幼稚園） 今後の行事予定 社会教育課長 1 冬休み体験教室 ボッチャ体験教室 2 令和3年幸手市成人式 社会教育課長（公民館） 1 はじめての絵手紙講座 2 マットピラティス講座 3 西公民館主催事業（ふれあいサロン） 4 ヨガ講座 5 修繕工事 6 11月の利用状況 社会教育課長（郷土資料館） 1 報告事項 2 今後の事業予定 社会教育課長（図書館） 1 報告事項 2 利用状況 3 今後の事業予定 4 予約の多い図書（上位5冊） 5 購入図書リスト 社会教育課長（体育施設） 1 利用状況 2 今後の主な利用 について資料により説明する。
----------------------------------	--

	《質疑》 岩崎委員 幸手市議会定例会一般質問で本田議員から質問があった後援申請について、後援承認した後に政治的目的等を有する内容が含まれていると判明した場合、承認を取り消す規定はあるのか。 教育部長 申請には、申請書と併せて行事の目的や内容等が詳細に分かる書類、団体の概要を示す書類、役員及び事業関係者の名簿、行事に係る収支予算書の提出を求めている。 後援に関する事務取扱要綱に基づき書類審査を行うが、審査する基準の一つとして、政治的目的等を有する内容が含まれていないかを定めている。 なお、「申請書の内容に反する等により後援をすることが不適当であると認めるに至ったときは、当該承認を取り消すものとする。」と規定している。 岩崎委員 教育については、特に政治的中立性が確保されなければならない。厳選な審査と対応をお願いしたい。 教育部長 市および教育委員会では、それぞれの事務取扱要綱に定める審査基準に基づき承認を行っている。今後については、より一層慎重な審査を行ってまいりたい。 藤沼委員 先進地視察の報告を受けての感想だが、施設一体型の小中一貫教育は、いくつかの課題はあるものの、メリットの方が多く素晴らしい取組だと感じた。 過去の体験を思い返すと、小規模校から中学校に進学した児童は、大規模校から進学した児童と比較して友人関係を構築するまでに時間を要していた記憶がある。 施設一体型の小中一貫教育は、同じ校舎内で進学することから、そういった問題も無いし、高校の進路選択においても教師が9年間を通して具体的な指導ができるので、子どもの夢や希望がより実現しやすくなるかと思う。 尾島委員 GIGAスクール構想の一環として全児童・生徒に整備されるタブレット端末の機種や仕様の報告は受けているが、実機に触れられる機会を設けてほしい。
--	--

	総務課長 2月以降の定例会でお示しできるよう調整したい。 尾島委員 幸手市民文化会館の自主事業「ピアノ演奏体験」の利用者数が以前より増加しているが、何か工夫をされたのか。 社会教育課長 特別な啓発は行っていないが、新型コロナウイルス感染症対策を適切に講じた成果かと考えている。 藤沼委員 毎月、各公民館の利用状況の報告をいただいているが、市民サービスをさらに向上させるため、これらの数字を参考にして次年度計画等の策定を行っているか伺う。 社会教育課長 利用者数のデータを参考にはしていないが、各種講座等の参加者からいただいたアンケート結果を参考にしながら、次年度開催する講座の内容や開催時期の計画等の策定は行っている。 藤沼委員 A I（人工知能）が、多くの現場で活用されてきており、利用者数などのデータは、課題解決に向けた情報処理に必要不可欠である。今後に備えてデータの蓄積、保管することをお勧めする。 高島委員 幸手市議会定例会一般質問で枝久保議員から質問があったI C T教育を進める上での問題点のうち、学校の教職員に関することとして、「I C T活用能力が高い教員がいるものの、個々の差が大きいこと」と答弁されているが、一番大切なのは教員同士がコミュニケーションを通して互いに教え合うことが非常に大事である。また、I C Tを活用した教育を通じて子どもたちにどう伝えることができるかが重要である。 毎年、児童・生徒、保護者、教員を対象に実施している学校評価アンケートの結果を見ると、小学校では3者間の回答に差異がないが、中学校では大きな開きがある。 普段の授業はもちろんのこと、I C T教育についてもこの3者間のギャップをどう埋めていくかが大事になるかと思うので、教員同士が互いに教え合いながら子どもたちにどう伝えていくかという視点に立って進めていただ
--	--

	けるとありがたい。 指導課長 貴重な意見として承る。今後、GIGAスクール構想に係る教員向けの研修を予定しているので、先進地事例も参考にしながら進めてまいりたい。 教育長 子どもたちのICT活用能力は向上したが、コミュニケーション能力は低下したというようなことにならないようバランスのとれた教育が重要なポイントになると思う。「ICTが生きたけど教育は死んだ」ということにならないよう注視していきたい。 会田職務代理者 今回ご報告いただいた坂戸市立城山学園や、昨年7月の定例会で春日部市教育委員会の部長様にご説明いただいた春日部市立江戸川小中学校もそうだが、どちらも開校までに長い年月がかかっている。小中一貫校の教育効果は確かにあると思うが、5年、10年先を見据えて学校再編等の検討をしていかないと、開設したはいいが児童・生徒数の減少により維持できないということにもなりかねない。幸手市にとって一番望ましい姿の青写真を早めに作っていただきたい。 教育部長 いずれの先進地も未来の展望を見据えて構想づくりに時間をかけていた。統廃合や小中一貫校という結果に飛びつくのではなく、基本的な構想や目標をしっかりと組み立てていく必要があると実感した。 今後、市長部局から方向性等示されたときに、直ちに検討に入れるよう、教育委員会では今後も引き続き準備を進めてまいりたい。 教育長 学校再編等の問題は、大きな課題でもあり、先を見据えて早急に検討しなければならないと考えている。設置者である市長部局と連携しながら取り組んでいく必要があるが、要請が来たときに教育委員会としての方針を示すデータは持っていなければならないと思っている。 藤沼委員 教育における未来の展望は、最低でも50年、先は100年先を見据える必要があると思う。子どもが生まれて成長
--	--

ほ か 特 に 重 要 と 認 め る 事 項	な し
	上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。 令和3年 1月19日 教 育 長 山 西 実 署名 署 名 委 員 藤 沼 寛 次